

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 エイボン・プロダクツ株式会社
 コード番号 4915 URL <http://www.avon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) テレンス・ムアヘッド

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 岡 修

TEL 03-5353-9227

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	12,662	△14.0	△98	—	△82	—	△90	—
21年12月期第3四半期	14,719	—	△46	—	6	—	△1	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	△1.54	—
21年12月期第3四半期	△0.03	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	8,159	4,873	59.7	83.37
21年12月期	8,699	4,963	57.1	84.91

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 4,873百万円 21年12月期 4,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年12月期	—	0.00	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,545	△10.7	△983	—	△964	—	△970	—	△16.60

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年12月期3Q 58,458,605株 21年12月期 58,458,605株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 850株 21年12月期 0株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年12月期3Q 58,458,133株 21年12月期3Q 58,458,614株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれております。今後の経済情勢等、様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(第3四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)におけるわが国経済は、政府の経済諸施策の効果及び輸出の拡大等により企業業績に回復傾向が見られましたが、厳しい雇用・所得環境の改善は進まず、引き続き個人消費は低調に推移しました。

当社の主要製品分野であります化粧品業界は、全般的にお客様の低価格志向が続き、さらに成熟した市場への他業種からの参入等により企業間競争が激化し、当社の事業環境は非常に厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社は現在、複数年にわたる業績回復プランの道程にありますが、厳しい企業間競争と低迷する個人消費の影響を受け、売上高は前年同四半期に比較して減少しました。また、効率的なキャンペーン販売システムを推進し、カタログ作成等の販売促進費、通信費及び人件費等の諸経費の削減を進めましたが、売上高の減少は利益面に大きく影響し、損失を計上しました。

当第3四半期累計期間の売上高は126億62百万円(前年同期比14.0%減)、営業損失は98百万円(前年同四半期は営業損失46百万円)、経常損失は82百万円(前年同四半期は経常利益6百万円)及び四半期純損失は90百万円(前年同四半期は四半期純損失1百万円)となりました。

また、当第3四半期会計期間の売上高は39億36百万円(前年同期比21.0%減)、営業損失は1億19百万円(前年同四半期は営業利益47百万円)、経常損失は1億11百万円(前年同四半期は経常利益62百万円)及び四半期純損失は1億14百万円(前年同四半期は四半期純利益59百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べて5億40百万円減少し、81億59百万円となりました。これは主として、売掛金の減少3億56百万円、有形固定資産の減少2億37百万円、前払年金費用の減少1億67百万円及び未収入金の増加1億3百万円等によります。

負債合計は、前事業年度末に比べて4億50百万円減少し、32億85百万円となりました。これは主として、未払金の減少1億92百万円、未払費用の減少1億2百万円及び預り金の減少1億1百万円等によります。

純資産合計は、前事業年度末に比べて90百万円減少し、48億73百万円となりました。これは株主資本において、四半期純損失90百万円を計上したこと等によります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末と比較して54百万円増加し、12億67百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は、1億23百万円(前年同期は4億34百万円の獲得)となりました。これは主として、売上債権の減少3億56百万円、減価償却費2億97百万円、前払年金費用の減少1億67百万円、その他流動資産の増加1億39百万円及びその他流動負債の減少5億11百万円があったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、57百万円(前年同期は38百万円の獲得)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出46百万円があったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、11百万円(前年同期は47百万円の使用)となりました。これは主として、リース債務の返済による支出10百万円があったこと等によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期の業績予想につきましては、平成22年2月18日付「平成21年12月決算短信(非連結)」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。また、たな卸資産の簿価切下げにあたっては、収益性の低下が明らかなたな卸資産についてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産につきましては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有な会計処理)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,267,602	1,213,417
売掛金	742,053	1,098,901
商品及び製品	795,035	772,154
仕掛品	146,584	206,051
原材料及び貯蔵品	648,793	588,777
前払費用	397,171	363,559
未収入金	461,521	357,568
その他	2,042	593
貸倒引当金	△8,393	△9,682
流動資産合計	4,452,412	4,591,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,411,260	1,496,542
機械及び装置(純額)	468,791	584,932
車両運搬具(純額)	2,762	3,862
工具、器具及び備品(純額)	158,211	189,900
土地	961,838	961,838
リース資産(純額)	50,272	53,089
有形固定資産合計	3,053,136	3,290,165
無形固定資産		
ソフトウェア	30,195	31,677
無形固定資産合計	30,195	31,677
投資その他の資産		
関係会社株式	10,000	10,000
敷金及び保証金	236,910	232,383
前払年金費用	376,916	544,389
投資その他の資産合計	623,827	786,772
固定資産合計	3,707,159	4,108,615
資産合計	8,159,571	8,699,959

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	969,770	914,602
リース債務	14,266	12,383
未払金	748,663	941,219
未払消費税等	27,374	61,403
未払費用	905,727	1,007,824
未払法人税等	9,480	21,096
預り金	64,771	166,419
返品調整引当金	27,551	22,944
賞与引当金	338,106	381,967
その他	4,022	5,149
流動負債合計	3,109,734	3,535,011
固定負債		
長期退職給付未払金	107,132	127,536
役員退職慰労未払金	32,516	32,516
リース債務	36,465	40,969
固定負債合計	176,113	201,021
負債合計	3,285,848	3,736,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,114,700	3,114,700
資本剰余金	24,644	24,644
利益剰余金	1,734,425	1,824,581
自己株式	△47	—
株主資本合計	4,873,723	4,963,926
純資産合計	4,873,723	4,963,926
負債純資産合計	8,159,571	8,699,959

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	14,719,776	12,662,372
売上原価	4,918,213	4,215,225
売上総利益	9,801,563	8,447,146
販売費及び一般管理費	9,847,788	8,545,225
営業損失(△)	△46,224	△98,079
営業外収益		
受取配当金	52,800	—
為替差益	—	13,847
その他	2,380	2,269
営業外収益合計	55,180	16,117
営業外費用		
支払利息	1,035	550
為替差損	1,380	—
その他	1	0
営業外費用合計	2,416	550
経常利益又は経常損失(△)	6,539	△82,512
特別損失		
固定資産除却損	2,790	3,090
特別損失合計	2,790	3,090
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	3,748	△85,603
法人税、住民税及び事業税	5,513	4,552
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	5,513	4,552
四半期純損失(△)	△1,764	△90,155

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	4,984,774	3,936,439
売上原価	1,695,321	1,283,224
売上総利益	3,289,453	2,653,215
販売費及び一般管理費	3,241,764	2,772,869
営業利益又は営業損失(△)	47,688	△119,654
営業外収益		
為替差益	14,979	8,164
その他	264	337
営業外収益合計	15,244	8,502
営業外費用		
支払利息	249	171
営業外費用合計	249	171
経常利益又は経常損失(△)	62,683	△111,324
特別損失		
固定資産除却損	1,279	1,703
特別損失合計	1,279	1,703
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	61,403	△113,027
法人税、住民税及び事業税	2,161	1,517
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	2,161	1,517
四半期純利益又は四半期純損失(△)	59,241	△114,545

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	3,748	△85,603
減価償却費	396,797	297,953
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	466	△1,289
前払年金費用の増減額 (△は増加)	151,220	167,472
受取配当金	△52,800	—
支払利息	1,035	550
固定資産除却損	2,790	3,090
売上債権の増減額 (△は増加)	357,125	356,848
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△43,321	△23,429
仕入債務の増減額 (△は減少)	△213,071	55,167
未払人件費の増減額 (△は減少)	311,955	62,852
退職給付未払金の増減額 (△は減少)	△46,890	△19,394
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△71,795	△34,029
その他	△398,132	△650,034
小計	399,127	130,155
配当金の受取額	42,240	—
利息の支払額	△1,035	△550
法人税等の支払額	△6,070	△6,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	434,262	123,535
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,914	△46,895
無形固定資産の取得による支出	△4,988	△6,216
非連結子会社の減資による収入	83,760	—
その他	799	△4,527
投資活動によるキャッシュ・フロー	38,657	△57,639
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△38,474	—
自己株式の取得による支出	△80	△47
リース債務の返済による支出	△6,535	△10,579
配当金の支払額	△2,622	△1,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,711	△11,710
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	425,208	54,184
現金及び現金同等物の期首残高	126,219	1,213,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	551,427	1,267,602

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。